

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	老朽化化学兵器の廃棄処理に必要な経費	事業開始年度	平成17年度	作成責任者		
担当部局庁	港湾局	担当課室	計画課	課長 高橋浩二		
会計区分	一般会計	上位政策	海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内閣官房の調整により、平成17年度から菟田港における老朽化化学兵器の無害化処理を国土交通省によって実施している。菟田港において4,403発の化学兵器が海洋投棄されたという文献記録があり、21年度までに計2,923発(平成17年度以前の防衛庁実施分を含む)が発見・処理されている。港内の安全を確保するため、老朽化化学弾の探査及び処理業務等を行うものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	菟田港で発見されている老朽化化学兵器は致死性の毒ガスを含む危険な化学兵器であり、人体への悪影響を防止し、港の安全を確保するために、同港にて発見された化学弾を無害化処理する。 無害化処理フロー： 1. 磁気探査、2. 現し作業、3. 揚収、4. 陸揚げ・輸送、5. 検査・識別、6. 爆破処理					
実施状況	平成19年度：780発の処理 平成20年度：780発の処理 平成21年度：109発の処理					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,289	7,401	6,675	—	1,127
	執行額	6,181	5,954	6,012		
	執行率※	270.0%	80.5%	90.1%		
	総事業費(執行ベース)	6,181	8,797	9,517		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	国の直轄事業であり、処理業務の発注や現場監督業務を地方整備局において行い、作業の進捗状況や予算の執行状況を常に把握している。 本省においては地方整備局からの報告を以て事業の進捗状況を把握している。				
	見直しの余地	・整備局においては、処理業務が適切な費用や工程で実施されるよう検討する。 ・加えて、磁気探査、現し作業について能力の向上を図ることによる処理業務のコスト縮減を図り、現場管理に一層の注意を払う。 ・また、当該港湾の安全に対する地元住民の要望を踏まえ、磁気探査や現し作業の結果に応じて、探査範囲等の見直しについて検討する。				
予算・監視の所見率化	【一部改善】 処理計画・工程を精査するとともに、作業方法の改善に向けた見直しを行うべき。また、地元住民等の意見を十分に聴取し、探査範囲等の見直しを適切に行うべき。					
補記	※「執行額」に前年度からの繰越に伴う金額が含まれるため、「執行率」が100%を超えているものがある。 【予算科目】 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・038 総合的物流体系整備推進費 ・95 総合的物流体系整備の推進に必要な経費 ・95199-2122-08 老朽化化学兵器廃棄処理業務旅費 1百万円 1百万円 ・95199-2123-09 老朽化化学兵器廃棄処理業務庁費 6,673百万円 6,011百万円					

国土交通省
6,013百万円

〔 老朽化化学弾の無害化処理業務を行わせる。 〕



A.九州地方整備局
6,012百万円

〔 老朽化化学弾の無害化処理業務を実施。 〕

老朽化化学兵器廃棄
処理業務旅費
1百万円



【 一般・指名競争入札 】

B.民間企業(4社)
5,977百万円

〔 磁気探査、現し作業、無害化処理業務、監督補助業務等 〕

【 随意契約・一般競争入札 】

C.財団・社団法人(4社)
34百万円

〔 船舶安全管理業務、施行検討業務、調査・解析業務等 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先
が何を行っている
かについて捕捉する)
(単位:百万円)

A.九州地方整備局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	無害化処理業務 株式会社神戸製鋼所	5,384			
事業費	現し工事 若築建設株式会社	391			
事業費	磁気探査 日本ジタン株式会社	190			
事業費	港湾整備に伴う施工検討業務 財団法人港湾空港建設技術サービスセンター	15			
事業費	整備船舶安全管理業務 社団法人西部海難防止協会	14			
事業費	監督補助業務 株式会社ポルテック	12			
事業費	石材等の市場価格調査 財団法人経済調査会	4			
事業費	港湾整備に係る沿岸気象海象情報 の予測解析等業務 財団法人沿岸技術研究センター	2			
その他	旅費等	1			
計		6,013	計		0
B.株式会社神戸製鋼所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	苅田港老朽化化学兵器無害化処理業務	5,384			
計		5,384	計		0
C.財団法人港湾空港建設技術サービスセンター			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	苅田港港湾整備に伴う施工検討業務	15			
計		15	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 表情が分かるよ
 うに記載)

【別紙】

A.地方整備局(1機関) 6,012百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	九州地方整備局	6,012
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

C.財団・社団法人(4社) 34百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	財団法人港湾空港建設技術サービスセンター	15
2	社団法人西部海難防止協会	14
3	財団法人経済調査会	4
4	財団法人沿岸技術研究センター	2
5		
6		
7		
8		
9		
※四捨五入の都合上、合計が一致しない。		

B.民間企業(4者) 5,977百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	株式会社神戸製鋼所	5,384
2	若築建設株式会社	391
3	日本ジタン株式会社	190
4	株式会社ポルテック	12
5		
6		
7		
8		
9		
10		

No.	支出先	金額 (百万円)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		